

令和 5 年度

社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会

事 業 報 告 書

# 令和5年度 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会

## 事業報告

### I. 法人運営ならびに連絡調整

円滑な会務運営ならびに事業執行を図るため、次のとおり、理事会・監事会・評議員会を開催した。

#### 1. 理事会・監事会・評議員会等の開催

※ 財 源 : 社協単独

##### (1) 監事会の開催

第 1 回 日 時 令和5年 5月31日 (水) 9時43分 ~ 15時20分  
場 所 嬉野市社会福祉協議会 本所  
出席者 会長・監事 2名 出席  
議 題 ① 令和4年度 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 事業報告書 (案) 及び 決算書 (案) について  
以上の 監査 を受ける

##### (2) 理事会の開催

第 1 回 日 時 令和5年 6月13日 (火) 9時57分 ~ 11時20分  
場 所 嬉野市中央公民館 第2研修室  
出席者 理事 9名中 8名出席 及び 監事 2名 出席  
報告事項 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 会長及び常務理事の業務執行状況報告について  
議 題 ① 令和4年度 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 事業報告書 (案) について  
② 令和4年度 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 決算書 (案) について  
③ 令和5年度 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 資金収支補正予算 (案) について  
④ 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 評議員の推薦について  
⑤ 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 評議員会の開催について  
以上 5件 について

第 2 回 日 時 令和5年 6月29日 (木) 9時59分 ~ 10時32分  
場 所 嬉野市中央公民館 第2研修室  
出席者 理事 9名中 7名出席 及び 監事 2名 出席  
議 題 ① 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 会長 (理事長) の選定について  
② 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 副会長の選定について  
③ 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 常務理事の選定について  
以上 3件 について

第 3 回 日 時 令和5年 8月18日 (金) 9時55分 ~ 10時41分  
場 所 嬉野市中央公民館 第2研修室  
出席者 理事 9名中 7名出席 及び 監事 2名 出席  
議 題 ① 嬉野市嬉野老人福祉センター指定管理者の指定申請について  
② 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 社会福祉充実計画 (案) について

③ 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 評議員会の開催について  
以上 3件 について

第 4 回 日 時 令和5年12月15日(金) 10時12分～11時47分  
場 所 嬉野市中央公民館 第2研修室  
出席者 理事 9名中 8名出席 及び 監事 1名 出席  
報告事項 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 会長及び常務理事の業務執行  
状況報告について  
議 題 ① 令和5年度 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 資金収支補正  
予算(案) について  
② 令和5年度 歳末見舞金配分(案) について  
以上 2件 について

第 5 回 日 時 令和6年 1月30日(火) 10時00分～10時41分  
場 所 嬉野市中央公民館 視聴覚室  
出席者 理事 9名中 7名出席 及び 監事 2名 出席  
議 題 ① 第11回 嬉野市社会福祉大会 被表彰者(案) について  
以上 1件 について

第 6 回 日 時 令和6年 3月26日(火) 10時00分～11時02分  
場 所 嬉野市中央公民館 視聴覚室  
出席者 理事 9名中 9名出席 及び 監事 2名 出席  
議 題 ① 令和5年度 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 資金収支補正  
予算(案) について  
② 令和6年度 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 事業計画(案)  
について  
③ 令和6年度 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 資金収支予算  
(案) について  
以上 3件 について

### (3) 評議員会の開催

第 1 回 日 時 令和5年 6月28日(水) 10時00分～11時41分  
場 所 嬉野市中央公民館 視聴覚室  
出席者 評議員 13名中 13名出席 会長 出席 監事1名出席  
報告事項 令和4年度 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 事業報告について  
議 題 ① 令和4年度 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 決算書(案)  
について  
② 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 役員(理事・監事)の選任  
について  
以上 2件について

第 2 回 日 時 令和5年 8月28日(月) 13時30分～14時01分  
場 所 嬉野市中央公民館 視聴覚室  
出席者 評議員 13名中 12名出席 会長 出席  
議 題 ① 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 社会福祉充実計画(案)に  
ついて  
以上 1件について

(4) 評議員選任・解任委員会

第 1 回 日 時 令和5年 6月13日(火) 13時28分～13時43分

場 所 嬉野市中央公民館 視聴覚室

出席者 評議員選任・解任委員 5名中 3名出席

議 題 ① 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 評議員の選任について  
以上 1件について

2. 役職員の研修状況

役職員の資質向上を図るために、研修の実施及び各種研修へ参加

(1) 役員研修

- ① 理事・監事・評議員セミナー

(2) 職員研修

- ① 市町社協新任職員研修会
- ② 県職連会議及び研修会
- ③ 九州ブロック地域福祉研修会 in 鹿児島
- ④ 都市社協事務局長会議
- ⑤ 都市社協職員講話研修会・視察研修会
- ⑥ 杵藤地区社協事務局長会議
- ⑦ 杵藤地区社協事務局長・職員視察研修会
- ⑧ 地域福祉実践研究セミナー
- ⑨ コーディネートスキル向上研修
- ⑩ 災害ボランティアセンター設置研修会
- ⑪ 災害ボランティアセンター派遣（佐賀市）
- ⑫ 災害時における協働研修
- ⑬ はばたけ！ボランティア in 吉野ヶ里
- ⑭ 地域はつらつボランティアステップアップ研修会
- ⑮ 福祉サービス利用援助事業 担当者会議
- ⑯ 福祉サービス利用援助事業 専門員研修会
- ⑰ 自立支援協議会
- ⑱ 生活困窮者自立支援事業 従事者研修会
- ⑲ 自立支援主任相談員研修会
- ⑳ 杵藤地区成年後見研修会
- ㉑ 成年後見制度市町担当者会議
- ㉒ 成年後見人材育成研修
- ㉓ 権利擁護研修会
- ㉔ 県生活支援コーディネーター連絡会
- ㉕ 県生活支援コーディネーターフォローアップ研修
- ㉖ 県生活支援コーディネーター基礎研修
- ㉗ 認知症キャラバンメイト養成研修
- ㉘ 認知症地域支援推進員研修（初任者研修）
- ㉙ ボイラー取得技能講習
- ㉚ 主任介護支援専門員フォローアップ研修
- ㉛ 県介護支援専門員協議会 杵藤支部研修会

3. 社協会費の状況

地域福祉向上のために、地域住民の参加を願い大切な財源を市民にお願いした。

一般会費 400円

重点募集期間 令和5年 6月～8月

社協会費総額 2,790,400円

内訳	一般会費	2,654,400円
	賛助会費	50,000円 (1,000円×50口)
	団体会費	86,000円 (3,000円×22口) (20,000円×1口)

4. 社協だよりの発行 ※財源：社協単独・共同募金配分金  
 全世帯に配布 1回あたり 8,500部 配布  
 令和5年5月、8月、10月、令和6年2月 計4回 発行
5. ホームページの充実 ※財源：社協単独・委託金・居宅介護・共同募金・日赤  
 最新の事業や福祉サービス等の情報発信
6. 災害見舞金交付事業 ※財源：社協単独・日赤・共同募金  
 市内で火災等により被害（全焼）を受けた世帯に対し、見舞金等を交付  
 令和5年度 1件
7. 福祉バス運行事業 ※財源：市補助金・社協単独・燃料利用者負担  
 福祉団体・社会教育団体等が、大会、研修会あるいはボランティア活動等に参加するとき  
 に運行
- 運行総回数 155回
  - 運行総距離 10,028km
  - 利用者延数 2,560名
8. 嬉野市地域福祉活動計画策定 ※財源：社協単独  
 社会福祉協議会が目指す「誰もが支え合いながら安心して暮らすことができる“ともに生きる豊かな地域社会”づくり」の実現のため策定
- 策定委員 各地区地域コミュニティ運営協議会代表（7名）  
 民生児童委員協議会代表（2名）
  - 策定委員会の開催 年3回
9. 福祉・医療担い手育成支援 ※財源：社協単独  
 社会福祉専門職及び看護職を目指す実習生を受け入れ、必要な知識や援助技術を取得するための実習指導を行った
- 実習受け入れ 嬉野医療センター附属看護学校（1年生）  
 武雄看護リハビリテーション学校（1年生）  
 西九州大学（3年生）  
 九州医療専門学校（通信制）

## II. 地域福祉活動事業

1. ふれあいのまちづくり事業 ※財源：社協単独  
 (1) 地区福祉活動の支援  
 地域住民の参加により地域に即した事業を展開し、事業を通して住民相互の助け合いや交流の輪を広げ、共に支えあう地域社会づくりができた。
- 実施地区数 68地区
- |    |                         |      |
|----|-------------------------|------|
| 内訳 | ① 世代間交流事業（スポーツ交流・伝承活動等） | 30地区 |
|    | ② 環境美化活動事業（区内清掃・草払い等）   | 34地区 |
|    | ③ 世代間交流・環境美化活動事業        | 3地区  |
|    | ④ その他（防災・消火訓練等）         | 1地区  |

## (2) 総合相談事業

次の相談を展開した。

### ① 法律相談：(予約制)

開催日 毎月 第 4 木曜日  
(塩田地区：偶数月、嬉野地区：奇数月)  
場 所 塩田地区：塩田老人福祉センター、嬉野地区：嬉野老人福祉センター  
相談員 佐賀県弁護士会会員  
相談件数 58 件

### ② こころの相談 (予約制)

開催日 毎月 第 4 月曜日  
場 所 塩田老人福祉センター、塩田保健センター  
相談員 嬉野温泉病院 精神科医師  
相談件数 38 件

### ③ 介護相談

開催日 随 時  
場 所 塩田老人福祉センター、嬉野老人福祉センター  
相談員 社協職員  
相談件数 4 件

### ④ 遺言相続相談

開催日 年 8 回 (塩田地区 2回、嬉野地区 2回)  
場 所 塩田地区：塩田老人福祉センター、嬉野地区：嬉野老人福祉センター  
相談員 行政書士  
相談件数 8 件

### ⑤ 一般相談 (電話相談含む)

開催日 随 時  
場 所 嬉野市社会福祉協議会 (本所・支所)  
相談員 社協職員

## (3) 民生委員・児童委員との連絡・連携

定例会への参加 (塩田地区・嬉野地区)

## 2. 住まいるサポート (生活支援体制整備事業)

※ 財 源 : 利用料・市委託金

ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯等が抱える生活でのちょっとした困りごとを、チケット制を取り入れ、地域住民 (協力会員) が支援するしくみづくりと住民相互の助け合い活動の推進ができた。

- ① 相談件数 11 件 (実人数)
- ② 登録人数 利用会員 20 名 (内、新規 4 名)  
協力会員 18 名 (内、新規 2 名)
- ③ チケット利用 143 枚
- ④ 延べ活動回数 46 回
- ⑤ 活動内容 室内掃除・買い物代行・ゴミ捨て

## 3. ボランティアセンター事業

※ 財 源 : 社協単独

### (1) 相談・登録・斡旋

### (2) ボランティアグループへの支援とボランティア活動の推進

- ① ボランティアグループの自主活動支援
- ② 学校ボランティアの育成
  - ・市内の各小学校・中学校・高等学校に対し、ボランティア情報の提供

・大掃除ボランティア

令和5年12月25日

塩田中学校 27名（内 職員1名）

(3) ボランティアに関する連絡・調整

(4) その他

① 24時間テレビチャリティー募金への協力

・塩田中学校

・NPO 法人 こだま

・太田医院 デイサービスさいかい

・社会福祉法人 たちばな会 かがやきの丘

・社会福祉法人 済昭園

・嬉野市社会福祉協議会

### Ⅲ. 施設運営受託事業（指定管理者制度）

1. 嬉野市嬉野老人福祉センター管理経営

※ 財 源 : 市受託金・利用料・社協単独

嬉野市内に居住する60歳以上の高齢者を対象に、健康の増進、教養の向上およびレクリエーションのための便宜など総合的に事業を行った。

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、十分な対策と一部利用を制限しながら、開館

○ 開館日日数 261日

○ 延利用者数 11,895名

### Ⅳ. 受託事業

1. 生活困窮者自立相談支援事業

※ 財 源 : 市受託金・社協単独

生活保護に陥る前の生活困窮者に対して、本人の自立を促し本人の状況に応じた包括的継続的な支援を実施し、就労その他の支援体制を整備して関係機関との連携を図り、社会資源の開発等を実施

○ 契約件数 38件

○ 延べ相談件数 1,352件

2. 藤津鹿島地区成年後見センター(中核機関)設置運営事業（新規事業）

※ 財 源 : 市受託金・社協単独

権利擁護のセーフティネットとなる中核機関として、成年後見制度の相談対応や利用促進を図り、専門職の支援を確保する等、関係機関との地域連携ネットワークづくりに努めた。

○ 相談実人数 40名

○ 延べ相談件数 118件

3. 高齢者生きがいデイサービス事業

※ 財 源 : 市受託金・利用料・社協単独

市内に居住する65歳以上の介護保険の認定を受けていない高齢者を対象に実施。高齢者の抱える不安等を外出の機会や同世代との交流を通して軽減することを目的に昼食や買い物支援、健康相談や体操、レクリエーション等により心身の機能低下及び認知症予防に努めた。

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、十分な対策と一部利用を制限しながら、開所

○ 開催日数 233日

○ 延利用者数 1,233名

4. ふれあい介護予防事業 ※ 財 源 : 市受託金  
 身近な場所で・身近な人と・みんなで健康づくりをテーマに、レクリエーションを取り入れ、簡単に楽しく継続して取り組める内容で、市内 3か所（塩田地区・嬉野地区・吉田地区）で開催。  
 ○ 対 象 ふれあいサロンリーダー及び一般高齢者  
 ○ 参 加 者 224名
5. 家族介護者交流事業 ※ 財 源 : 市受託金  
 介護者への情報提供や介護保険サービスの紹介を行なうとともに、介護者のリフレッシュを目的に介護者同士の交流やレクリエーションを実施。  
 開催日 ① 令和5年 6月27日 参加者 14名  
 ② 令和5年10月27日 参加者 12名  
 ③ 令和6年 2月26日 参加者 9名
6. 生活支援体制整備事業 ※ 財 源 : 市受託金・社協単独  
 日常生活上の支援が必要な高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために必要となる「生活支援・介護予防サービス」の提供体制を構築するため、地域のニーズ及びサービスの聞き取りを実施。また、サービス・支援の担い手となるボランティア等を養成し、各関係機関と連携して支援体制の強化・充実を図った。
7. ケアトランポリン健康教室 ※ 財 源 : 市受託金・参加費・社協単独  
 高齢者の介護予防や健康増進のため、安全面に配慮したケアトランポリンを活用し実施  
 体力測定2回実施  
 【 嬉野会場 】  
 ・実施回数 Aコース 39回 ・ Bコース 39回  
 ・登録者数 Aコース 36名 ・ Bコース 38名  
 ・延べ参加者数 Aコース 1,056名 ・ Bコース 914名  
 【 塩田会場 】※10月開始  
 ・実施回数 Aコース 21回  
 ・登録者数 Aコース 26名  
 ・延べ参加者数 Aコース 437名
8. 認知症地域支援・ケア向上事業（新規事業） ※ 財 源 : 市受託金・社協単独  
 認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、認知症地域支援推進員を配置し、パンフレットやチラシ、標語入りのポケットティッシュを製作し配布するとともに、嬉野老人福祉センター内に認知症コーナーをつくり書籍やパネルを設置するなどして、認知症の理解を深めるための啓発活動を行った。  
 ○ 相談件数 3件  
 ○ オレンジカフェ開催 3回（参加者延べ人数 20名）  
 ○ 認知症サポーター養成講座 2回（参加者 68名）  
 ○ 出前講座 1回
9. 福祉サービス利用援助事業(日常生活支援事業) ※ 財 源 : 県社協受託金・利用料・社協単独  
 認知症高齢者、精神障害者、知的障害者等判断能力が不十分な者や、日常生活を営むのに支障がある者に対し、地域において自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用に関する情報提供、助言及び手続の援助、利用料の支払等、福祉サービスの適切な利用のための一連の援助を一体的に行った。  
 7名に対し、月 1回あるいは、週 1回程度の生活費、医療費等の支払について、生活支援員による援助を実施  
 ○ 生活支援員 3名 （嬉野町 2名、塩田町 1名）



10. 生活福祉資金貸付事業 ※ 財 源 : 県社協受託金・社協単独  
 佐賀県社会福祉協議会の貸付事業で低所得世帯、高齢者世帯、障害者世帯などに必要な資金の貸付と相談援助を行い、世帯の経済的自立と生活意欲の助長並びに在宅福祉と社会参加の促進を図り、安定した生活を送られるよう支援するもので、民生委員と協力し、借入の紹介や償還に関する事務の実施  
 ○ 本年度貸付件数 なし

11. 特例貸付フォローアップ支援事業（新規事業） ※ 財 源 : 県社協受託金・社協単独  
 緊急小口資金等の借受人の中で償還免除の承認を受けた方や償還が困難な方など、特に支援が必要と考えられる方の相談を積極的に受け、関係機関と連携し支援を行った。

## V. 共同募金配分金事業

※ 財 源 : 共同募金配分金

### 1. 一般配分金事業

令和4年度に実施した『赤い羽根募金』の配分金で、次の事業を実施

#### (1) ふれあいサロン事業への支援

地域あるいは近隣を拠点に小地域の住民が地域福祉の充実を図るため、ふれあいの場を設け、高齢者が楽しい時間を過ごし、仲間づくり・生きがいくくり・健康づくりができた。

○ 年間 1か所あたり 12,000円の助成 58カ所で実施

#### (2) 各種福祉団体育成事業

市内の各種福祉団体への助成、なお、会員数を考慮し助成する。

助成額	1団体	会員数		
		50名以下		30,000円
		51名～100名		50,000円
		101名～300名		70,000円
		301名以上		100,000円

○ 助成した団体名		2,	350名	100,000円
嬉野市老人クラブ連合会				
嬉野市母子寡婦福祉会		25名		30,000円
嬉野市身体障害者福祉協会		80名		50,000円
嬉野市手をつなぐ育成会		60名		50,000円
嬉野市遺族会		445名		100,000円
嬉野市保護司会		21名		30,000円
嬉野市民生委員児童委員協議会		74名		50,000円

#### (3) 福祉の出前講座

##### ① ともに生きる力を育む福祉学習

令和5年	6月15日	塩田小学校	3年生	「心のバリアフリー教室」
令和5年	7月18日	久間小学校	5年生	高齢者の理解を深める出前講座①
令和5年	9月1日	久間小学校	5年生	高齢者の理解を深める出前講座②
令和5年	9月6日	五町田小学校	4年生	「心のバリアフリー教室」
令和5年	11月17日	大草野小学校	4年生	「心のバリアフリー教室」
令和5年	11月24日	嬉野小学校	4年1組	「心のバリアフリー教室」
令和5年	11月27日	嬉野小学校	4年3組	「心のバリアフリー教室」
令和5年	12月1日	嬉野小学校	4年2組	「心のバリアフリー教室」
令和5年	12月8日	轟小学校	4年生	「心のバリアフリー教室」
令和6年	2月2日	吉田小学校	4年生	「心のバリアフリー教室」

② 介護予防・健康講話等

コロナ禍で地域の集まりの場の休止や規模が縮小されたため、実施することができなかった。

(4) 第11回嬉野市社会福祉大会の開催

- 日 時 令和6年3月9日(土) 13:00～
- 場 所 リバティ
- 参加者数 230名

(5) ボランティア協力校への助成

市内の小学校・中学校・高校・特別支援学校に対し、助成

- 助成額 小・中・高・特別支援学校 1校あたり 50,000円 市内13校

(6) 嬉野市ボランティア連絡協議会への運営支援及び助成

- 助成額 50,000円

(7) ボランティアスクールの開催

- 塩田地区 7月24日(月) 認知症サポーター養成講座 参加者37名
- 嬉野地区 12月26日(火) 認知症サポーター養成講座 参加者31名

(8) 子どもクラブボランティア活動の勧め

子どもクラブによる地域でのボランティア活動を推進し、活動報告を受け情報誌等で活動紹介を行った。

- 嬉野市内 25地区 431名

2. 歳末たすけあい配分金事業

令和5年度に実施した『歳末たすけあい募金』の配分金で、次の事業を実施

(1) 歳末見舞金交付事業

市内の知的障害者及び精神障害者グループホームの入所者に対し見舞金を交付

- 市内のグループホーム(6カ所) 49名 245,000円

(2) 知的障がい児・者と保護者の交流事業(ふれあいの集い) 中止

(3) ひとり親世帯中学生卒業祝金交付事業

ひとり親世帯の生徒が『中学校』を卒業する際に、卒業祝いとして「図書カード」を交付

- 29名に対し、一人あたり 10,000円相当額の図書カードを交付

(4) 児童遊園地の点検事業

市内の児童遊園地を各地区で点検し、不良箇所等の確認・報告

- 17地区(塩田14地区、嬉野3地区)で実施

## VI. 介護保険事業関連

1. 要介護認定等調査

杵藤地区広域市町村圏組合からの委託業務。介護保険の更新申請をされた方の訪問調査を実施(作成した調査データをもとに認定審査が行われる)

- 訪問調査件数 46件

## 2. 居宅介護支援事業

介護支援専門員（ケアマネージャー）が、要介護認定（要介護1～5）を受けた方の介護サービス計画（ケアプラン）の作成、サービス事業所との連絡調整等を行った。利用者の心身の状況や生活環境を踏まえ、本人・家族等からの相談を基に計画を作成し、毎月のモニタリングにより状況を把握し、必要に応じサービスの調整を行った。

○ 延件数 782件

## 3. 介護予防ケアマネジメント

地域包括支援センターより委託を受け、要支援1・要支援2・総合事業対象者のケアプランを作成し、サービス事業者との連絡調整を行う。

○ 延件数 19件

## 4. 避難行動要支援者個別計画作成事業

嬉野市から委託を受け、緊急時に避難行動支援が必要な高齢者に同意を得て、連絡先及び支援方法等必要な情報を収集し個別計画を作成した。

○ 対象者 介護認定を受け嬉野市社協ケアマネジメントサービスで介護保険サービスの計画を作成している利用者

○ 作成件数 48件

## VII. 福祉資金貸付事業

※ 財源：市受託金

### 1. 市福祉資金貸付事業

一般の融資機関その他から資金の融資を受けることが困難である低所得世帯、高齢者世帯、障害者世帯などに、民生委員と協力し、必要な資金の貸付と相談援助を行い、世帯の経済的自立と生活意欲助長並びに在宅福祉と社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるよう支援

○ 本年度 貸付件数 2件

○ 貸付金額 100,000円

## VIII. その他の事業

### 1. 福祉用具貸出

市民に対し、『車イス』・『歩行器』等を一時的に貸し出した。

○ 車イス 59件 ○ 歩行器 1件

### 2. 福祉教育教材貸出

○ 疑似体験セット 10件

### 3. レクリエーション用具貸出

市民に対し、地域でのイベントや研修会等に備品を貸し出した。

○ レクリエーション用具 20件 ○ その他備品 6件

## IX. 共同募金運動事業と赤十字事業への協力

### 1. 共同募金運動事業

#### (1) 赤い羽根募金

たすけあい運動の啓発と自己財源の確保を図るため、共同募金運動を展開し、次のとおり実績を得た。

世帯あたり目安額 400円  
 運動期間 令和5年10月1日～12月31日  
 募金実績額 3,963,330円

・募金実績の内訳

○ 戸別募金 2,590,600円 (6,477世帯)  
 ○ 法人募金 513,180円 (66件)  
 ○ 資材募金 740,100円 (80カ所)  
 ○ 学校募金 43,767円 (9件)  
 ○ イベント募金 24,910円 (2件)  
 ○ 個人募金 7,512円 (3件)  
 ○ 街頭募金 13,045円 (1件)  
 ○ その他 30,216円 (5件)

(2) 歳末たすけあい募金

市内の要援護対象者に「明るいお正月」を迎えてもらうために、募金運動を展開し、次のとおり実績を得た。

世帯あたり目安額 200円  
 運動期間 令和5年12月1日～12月31日  
 募金実績額 1,406,184円

・募金実績の内訳

○ 戸別募金 1,304,500円 (6,523世帯)  
 ○ 職域募金 76,868円 (36件)  
 ○ 学校募金 19,816円 (5件)  
 ○ その他 5,000円 (1件)

2. 赤十字事業

(1) 日赤会員募集

災害救助をはじめ、血液事業および医療事業など各種事業の拡充強化を図り、赤十字組織を活用して県民・市民各位の役に立つ事業を実施するための財源を確保するため、会員募集を展開した。実績は次のとおり

世帯あたり会費額 500円  
 募集強化月間 令和5年5月1日～5月31日  
 募集目標額 4,060,000円  
 募集実績額 4,360,500円

・実績内訳

○ 普通会費 3,240,500円 (6,481世帯)  
 ○ 特別会費 1,120,000円 (2社・4名)

(2) 各種講習会への参加

- ① 赤十字デー講習会 中止
- ② 九州八県赤十字大会 令和5年11月16日(木) 佐賀市(SAGAアリーナ)
- ③ 各種義援金・救援金受付
  - ウクライナ人道危機救援金
  - 2023年トルコ・シリア地震救援金
  - 令和5年7月7日からの大雨災害義援金(佐賀県)
  - 令和6年能登半島地震災害義援金